

No.341  
2018  
6/8



# はちおうじ

JR東労組  
八王子地本  
八王子地本  
ホームページ  
「東労組八王子」で検索



JR東労組申第27号「乗務員勤務制度の見直し」に関する解明申し入れ団体交渉  
解明された事項を熟考し、基本要件を創り出そう！その③

## 企画部門はこうなる!?

### ■企画部門社員にまで対象を拡大する理由 ※コメント最後の〇数字は議論した項 ㉑なら第21項での議論

車両構造や新車など運転しないとわからない。運転する事で訓練計画構想など安全性向上、指導の幅が広がる。安全度は会社総体で上がると考えている。㉑

### ■対象者

少ない行路しかないのに関連のない部署がやる事は考えていない。㉑  
何年も乗務していない社員を乗務させない。㉑ フレックスタイム制は適用外。㉒  
制度改正以降、支社に異動になる方で、前職で乗務員をやっていた方が対象。㉑  
地区指・指令は除外。乗務したことの無い所や「前の前の職場」は考えていない。㉑

### ■乗務目安

1回が短時間なので週3回は乗って頂きたい。支社の当該者が土日に乗務する事は基本的にはないようにしたい。(首都圏は平日と土日に差があるので) ㉑

### ■所属

どこかの区所に兼務が付く。一時期支社の人々が現場に兼務したがそれと同じ考え。氏名札は兼務先のものを使用する。兼務先が複数になる事は現時点で全く考えていない。㉑

### ■業務内容

基本的には乗務後に支社勤務になると考えている。夕方乗務はごく稀。㉑  
1回支社に出て、その後乗務して、また支社に戻るというのは全くない。㉑  
基本的には短時間行路のみ乗務する。㉑  
乗務以外の業務(当直業務等)は考えていない。㉑  
前泊や後泊してまでとは考えていない。㉑  
乗務する事で支社に行けない分、滞る作業については課全体で調整していく。㉑



### ■訓練

定期訓練は区の乗務員と一緒に受ける。短時間行路が終わったら訓練を受けて支社に戻る。訓練センターも同様。㉑

### ■輸送混乱時

とんでもない異常時が発生して現場に応援ということはある。㉑  
1か月や2か月も乗務していないのに突発で乗務するという事はない。㉑  
輸送障害が発生して戻ってきてもう1本乗ってくれということはない。㉑



### ■企画部門の勤務整理

勤務整理は本務地。手当処理はJINJRE。主なシステム入力は支社。実績データのやりとりは支社と当務区所である。㉑  
実乗務する場合、始業が乗務なら区所に、夕方乗務なら支社に出勤。支社と現場の距離が遠い場合はサテライトオフィスは今後入れてそこで勤務する。サテライトオフィスは会社施設の中につくっていく。乗務は出張。本格的にサテライトオフィスを導入するなら出張・在社については検討していく。㉑

出張は勤務箇所から離れた場合。支社に着く時間までが出張になる。㉑㉒

出勤に間に合わなかった場合、労働時間の中での移動なので欠勤にならない。乗務が朝からだったら障害扱いになる。欠勤届の処理は支社、連絡は区所にする。㉑

### ■発令

本人の希望によるが、これまでの経験とか総合的に勘案して指定する。事前通知で意識づけがある。自己申告書の面談で聞いて一部乗務があると伝えていく。通勤状況・乗務する区所と異動になる支社・自宅の関連は考慮する。㉑

## 安全で働きがいある乗務員勤務制度を創り出そう!